

ランドブリック仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成18年 6月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m ² /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m²/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m²/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> (<u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u>) <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> (<u>□…数字</u>) <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> (<u>△…英字、○…数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	A色 : 約 7 m ² /缶 B色 : 約 72 m ² /缶
骨材	JF-1	寒水石(白竜) 1 厘	20kg/袋入り	約 24 m ²
	JF-3	寒水石(白竜) 3 厘	20kg/袋入り	約 19 m ²
	JF-5	寒水石(白竜) 5 厘	20kg/袋入り	約 160 m ²
	JF-7	寒水石(白竜) 7 厘	20kg/袋入り	約 53 m ²
目地棒	JR-70P5M1	5mm 幅 × 1m	200 本 (200m 分) / 箱	

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg × 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安 : 約 20~25 m²/セット)

<主な施工道具>

- ・金ゴテ
- ・リシガン 口径φ 6mm
- ・コンプレッサー 3馬力以上 (1台使用の場合)

<下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

<ランドブリック仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410 の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

1" JS-800 の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ JQ(W)-650 を無希釈で1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 墨出し

・ 目地棒を貼る為の基準線をつける。

4. 目地棒貼り

・ 目地棒の白色離型紙を剥がし、基準線に沿って貼る。

5. 主材 中塗り

配 合	<u>JQ(W) - 650シリーズ</u>	20kg
	寒水石 7厘	8kg
	寒水石 5厘	10kg
	清 水	2~2.5ℓ
塗 布 量	約4.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 金ゴテにて、均一に塗布する。	

6. 離型紙除去

5分以内（表面が皮ぱりする前に）

・ JQ(W) - 650の表面が乾燥しないうちに、青色の離型紙を剥がす。
(目地部分の角でバリがでないようにする為)

7. 主材 上塗り

24時間以上

乾燥を確認後、次工程へ移る。

配 合	<u>JQ(W) - 650シリーズ</u>	20kg
	寒水石 3厘	5kg
	寒水石 1厘	15kg
	清 水	4~4.5ℓ
塗 布 量	約1.0kg/m ²	
施工道具	リシンガン 口径φ6mm	

8. 目地棒除去

・ 白い目地棒を除去する。

<施工のポイント>

- ・下塗りは、必ず金ゴテで平滑になるよう行う。塗装ガンで吹き付けると、表面に凹凸ができる為、目地棒が剥がれやすくなる。中塗りの際にも剥がれ、作業性が悪くなる。
- ・目地棒は、上からしっかり押さえ、壁面に貼る。
- ・主材の中塗りは、目地棒の厚さ2mmになるよう平滑に仕上げる。

<施工の注意事項>

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以上